



各 位

2024年3月5日

会社名 セーラー万年筆株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 町 克哉
(コード番号 7992 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 木村 孝
(TEL 03-6670-6601)

中期経営計画（2024年から2026年まで）策定に関するお知らせ

当社は、最近の情勢を踏まえ、取締役会において、2022年2月17日に発表した中期経営計画（2022年から2024年まで）を見直し、新たな中期経営計画（2024年から2026年まで）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画（2024年から2026年まで）見直しの背景

当社は、数年にわたる経営不振から脱却するため、2018年4月にプラス株式会社と業務・資本提携契約を締結（※1）し、プラスグループの一員として経営再建に努めてまいりました。2018年4月の増資資金（※1）及び2020年7月の転換社債型新株予約権付社債発行（※2）による追加調達資金をもとに、懸案であった文具事業の広島工場の新工場棟建設に着手し、2022年の竣工と稼働開始から現在にかけて万年筆の製造能力及び生産性の向上で成果を上げつつあります。製品面では、前回発表の中期経営計画方針に基づき、当社創業時からの強みであり付加価値の高い万年筆及び万年筆インクに事業リソースの集中配分を行い、文具事業の売上に占める同分野の比率は大きく高まりました。販売面でもプラスグループの文具販売会社「コーラス株式会社」に参画（※3）して国内の営業業務を委託し、営業生産性の改善に向けた改革に着手してきました。

しかしながら、2021年度連結業績での営業利益（1億8百万円）以降、前中期経営計画期間における業績は目標に対して大幅な差異を生じる進捗となっており、2022年度、2023年度には二期連続営業損失を計上するなど厳しい経営状況にあります。この背景として、新型コロナウイルス感染症の流行期間の前後に国内外市場で生じた、消費者の生活意識や消費行動ならびに流通構造の変容への適応が遅れた問題があると認識しており、文具、ロボット機器の両事業でより一層抜本的な経営改革へと踏み込んでまいります。特に、文具事業では新工場棟の稼働開始で増強された製造能力を最大限に活用して業績回復と事業再成長軌道へと回帰することが最優先課題であり、製品開発・製造・販売の機能部門間での相互連携の強化に取り組んでまいります。以上を踏まえまして、2022年2月17日に発表した中期経営計画（2022年から2024年まで）を見直し、新たな中期経営計画（2024年から2026年まで）を策定することといたしました。

2. 新中期経営計画（2024年から2026年まで）の概要

文具事業におきましては、当社の強みであり、販売伸長を続けてきた万年筆及び万年筆インクの国内・海外での販売を引き続き拡大するべく、製品面では企画・研究開発部門のマーケティング力を強化し、現在の市場で求められる付加価値を備えた製品群の拡充と万年筆ユーザー拡大に努めます。販売面につきましても、国内・海外の文具専門店への販売活動強化に加えて、インターネット通販、直販モデル等を含めた、包括的なチャネルミックスでのアプローチへと改革を加速してまいります。これらの施策により、新工場棟稼働で増強された万年筆の製造能力を余すことなく活用できる体制を整え、業績回復の実現に取り組んでまいります。

また、ロボット機器事業につきましても、主力の取出機の製品競争力の強化に取り組むのと同時に、既存顧客における導入済み機器の更新需要獲得と、新規顧客の積極開拓を進めてまいります、特に、海外では今後も製造業の生産能力の増強傾向が期待されることから、新興国市場を始めとする各地域の担当者設置を行う等の施策を通じて、海外売上比率の向上と業績の回復を図ってまいります。

- ※1 2018年4月27日公表 「業務・資本提携及び第三者割当増資による新株式発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」
- ※2 2020年6月23日公表 「第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（劣後特約付）の発行に関するお知らせ」
- ※3 同上 「国内文具営業の業務委託に関するお知らせ」

3. 2023年実績および2024年－2026年計画（連結） [百万円]

	2023年 実績	2024年		2025年		2026年	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	4,558	5,100	－	5,600	－	6,000	－
営業利益又は 営業損失（△）	△341	0	0.0%	60	1.1%	125	2.1%
経常利益又は 経常損失（△）	△329	0	0.0%	65	1.2%	130	2.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益又は 親会社株主に帰属 する当期純損失（△）	△1,509	△15	△0.3%	40	0.7%	94	1.6%

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

（ご参考）前回発表した中期経営計画（2022年から2024年まで）の概要

・業績目標（連結） [百万円]

	2021年 実績	2022年		2023年		2024年	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	5,389	5,800	－	6,000	－	6,500	－
営業利益	108	150	2.6%	180	3.0%	335	5.2%
経常利益	102	140	2.4%	170	2.8%	326	5.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	53	80	1.4%	100	1.7%	210	3.2%

以上